

## 広報委員 ちょっと座談会

### ～子育て・PTA 活動いろいろ話してみよう！～



この座談会では、仕事・家事にお忙しい中で、PTAでもご活躍いただいている皆さんに、「我が家の子育て」をお話いただき、お互いの参考に、これからのPTA活動のヒントにしていただきたいと思います。

- ・幼・小（勉強が楽な低学年）のうちに子どもと遊んでおこう！と思ってます。  
土日はパパ、平日はママ、と自然に分担しているけど、平日の慌ただしさの中で“怒る役”がママになりがちなのは、ちょっと損かなと思ったりもします。
- ・県外から転入してきて、滋賀での教育・子育て情報が少ない所から始まりました。  
「宿題多いなあ」とか、コロナがあって子どものコミュニケーション能力に不安を感じたりもします。  
自分自身がPTA活動等を通じて情報を得られてきたこともあるので、単Pや市Pでは大人も子どもも巻き込んでいく企画を！と考え、展開しています。
- ・子どものレベルに合わせてトモダチのように接しています



- ・子どもが忙しい現状は、親も忙しいことにつながっていて、PTA や地域行事への参加が減っているように感じます。

幼稚園 PTA 現役だった時に読書クラブを結成、通算 100 回の読書会を開催しました。この時のメンバーが戦友のような存在で、今、幼稚園 100 周年事業にも一地域人として協力してくれています。子育ても PTA も一緒に凝縮したような時間があったことが、懐かしくもあり、大事だったんだと感じます。

子育てで 孤立してしまうと 親もしんどいし、子ども 影響を受ける。PTA や地域で話せることは、「話す」だけでもホッとできたり、情報を得たり共感できたりすることで解決できることもあるかと思えます。話せる場があることって大事ですね。

- ・去年は、高3・中3で超タイヘンな1年でした。いろいろなことが次々起こって、いろんな皆さんにお世話にもなって、親も一緒に成長させてもらっているカンジでした。

子どもの成長とともに、親が心得ていた方がいいこともありますね。「手をかける」から「目をかける」「ココロをかける」みたいな・・・

- ・基本「好きなようにしたらええやん」というスタンスです。でも好きなようにするなら責任もあることを教えながら 育てています。

- ・反抗期で「うっさい！クソババア～」と乱暴な言葉を吐いたり、語彙力が少なく態度に出ることもあります。バーンっと部屋のドア蹴ってみたり、、、そんな時には  
「まだまだ踏み込み甘いんちゃう!？」と逆にあおってみたり、相手にしない!と決め込んだりします。



- ・逐一話さないけど、過ぎてからでも自分のタイミングで話してくれることを大事にしています。その時に聞いてみたいという親としての気持ちはちょっと抑えて・・・

- ・進路など、まずは「自分で考えてな～」という方針です。その上で決めた塾の送迎とかサポートはしていくよ!という気持ち・・・伝わっているのかな・・・

- ・こうなってほしいってのは特にないけど、元気に育ってくれていてありがたいです。忙しい時って、地域もPTAもみんな重なるけど、何とかみんなに助けられてきました。仕事もしっかり拵げていかなきゃ家庭も守れないしと頑張ってる・・・

「結局 家にいてないやん」と妻からの指摘を受けたりして・・・(苦笑苦笑)  
それでもやっぱり妻に感謝です。

- ・土日の仕事もあり、その上PTA活動でも出て、子育ては妻に任せて甘えがち・・・家庭があつてのPTAなんですけどね・・・

- ・児童クラブの指導員をしています。子どもたちは、学校でも家でも見せない顔を児童クラブで

見せているように感じます。自由な表情、のびのびした行動。学校でもがんばって、家でも子どもなりに忙しい親に気がつかっているのかもしれないですね。子どもにとって、家でも学校でもない3つ目の場所が、ホッとできる場にもなるし、逃げ場にもなるし、わがままも言える場なのかもしれません。

「親子でもっと話したいってえ～な～ 話せないならハグしてやって～」と思ったりするのですが・・・親御さんも忙しくなっている現です。

先生方のご家庭での子育てって、どんなカンジなん  
でしょうか？学校ではキビシク指導される場面もあり  
ましようけど・・・

- ・当時は3世代家族で暮らしていたので、子どもの世話を焼いたり目を掛ける家族はいつもいてくれました。それに甘えて、家では子育てしてなかったような・・・  
送迎はできる!!父親は、 ナイーブな対応は妻に任せきりでしたが・・・(苦笑)

- ・「自分が親にしてほしかったことをやってあげたい」と思っていて、兄弟のようにいっしょになって子どもに向き合っています。妻には怒られる!のですけど・・・



子育てしている時は、仕事も忙しい!!  
皆さん同じなんですね。

- 皆さんにお聞きしたいです。  
家庭や学校を含め、社会の中でみんなで何か一つの思いを共有することが減ったように感じます。今、家族で一つの話題で話すことってあるのかな？学校でもあるのかな？  
ウチでは最近、子の結婚式の準備のため、家族でアルバムを開いて振り返った時に「あの時はこうだった！」とか、めっちゃ盛り上がりました。

- 子どもの誕生日に母親がサプライズでその年に子どもが好きなキャラクターとかで誕生日の飾り付けをしています。



- 年1回のピワイチ

- 普段の生活の中で盛り上がることはナイかも。おもちつきや家族の行事で、家族が揃うことはあるが・・・  
どこか連れてってあげなきゃとは思うけど・・・

- Tiktok を家族であげて盛り上がってる

- 優しい言葉。一緒に買い物に行った時「カート押したげる」「荷物持ったげる」と。子にとっては その言葉の裏側に「欲しいものがあるから」と魂胆があるかも知れないが親としては その言葉に 内心盛り上がる。

- 子ども発信での親子コミュニケが始まるのが日常。学校からのおしらせをもらってきた時や「生徒会でこんなことあった」と話してくれたり・・・

- クワガタ獲り。親子ではまって毎日獲りに行っていた。  
鉄道オタクな子が旅の企画をしてくれる 「旅のしおり」もちゃんと作ってくれてみんなで行く。



- 一家に1台TVの時代は、もう戻って来ないかもしれない・・・  
今、家族内でも「個」が確立している・・・  
だからこそ、一家で何かやってみる・共有してみる ってイイんじゃないか と思います。

今回の座談会では、子育ての先輩方のお話を聞けてとても参考になるとともに、保護者の目線だけではなく、先生が想う子育てについても話題が広がり、まさにPTAならではの会話の花が咲きました。

その中でも「家庭や学校を含めて、社会の中でみんなで何か一つの思いを共有することが減ったのかな」という言葉に、これからの教育を考えるヒントが隠れていると感じた時間となりました。